

# 令和7年度 真駒内公園小学校「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：26026

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

| 「学ぶ力」  |  |
|--|--|
| これまでの 成果   | 課題   |
| <p>◇児童アンケートや教職員アンケートの「最後までやり遂げること」「できるだけ努力すること」に係る項目について肯定的な割合が高く、本校の重点目標「ねばり強い子」を目指した効果が表れてきている。</p> <p>◇「一人一人が主人公となる学校」を目指し、授業実践を積み重ねてきた結果、「主体的に学び、自己を高める姿」が表れてきた。</p> <p>◇ICTを活用した実践を積み、効果的な活用場面が明らかになってきた。</p>                       | <p>◇児童アンケートの「自分の考えや思いを表現すること」「進んで発言すること」「話の内容や順序を考えること」において肯定的に捉えている児童の割合が低い。自分の思いや考えを表現する意欲・技能を高めていくことが課題である。</p> <p>◇児童アンケートの「算数で学習したことを、今後の学習で活用しようとしている」について肯定的に捉えている児童の割合が低いことから、学習したことをどのように生活に生かしていくことができるかを考える場面を設定していくことが課題である。</p> |
| <p>「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く相互承認の感度〉の現状と課題</p> <p>◇児童アンケートから、全校的に自己肯定感が高く、相互承認の項目も90%を超えているものが多い。「元気なあいさつが溢れる学校」を目指して積み重ねてきた取組が効果的に作用していると考えられる。引き続き「あいさつ」に力を入れたり、縦割り班活動や学年・学級での自己と他者の良いところを見つけて伝え合ったりして、相互承認の感度を高める活動の充実を図る場の設定や価値付けが重要となる。</p> |  |

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

## 進んで考え学ぶ かがやく子 ～主体的に学び、自己を高める力～

|    | AARサイクルの視点で捉え直した<br>課題探究的な学習の推進  | さっぽろっ子宣言「プラスのまほう」に基づく<br>自治的な活動の充実  |
|----|--|---|
| 取組 | <p>◇研究副主題「一人一人が主人公となる授業」の実現</p> <p>①研究教科の算数で「主体的に学ぶ姿」をめざすための教材化を行う。</p> <p>②研究教科の算数で「自分の考えを表出して他者とかわり、考えを深める姿」を目指すための教師の関わりを行う。</p> <p>③ICTを①や②実現のためのツールとして捉え、効果的な場面で活用していく。(デジタルとアナログの使い分け)</p> <p>◇学期に一度「家庭学習がんばり週間」を設定し、「みんなの家庭学習ノート」を見合うことにより、課題探究的な学習の充実を図る。</p>  | <p>◇「プラスのまほう」に基づいた活動の計画と実践</p> <p>①委員会活動…各委員会がPLUSをコンセプトに活動</p> <p>②学年、学級での活動…PLUSに即した計画、活動</p> <p>◇よりよい学級にするための学級活動の充実</p> <p>①学級会でPLUSに即した学級目標を作成</p> <p>②学級の様々な課題を議題にした学級会の実施</p> <p>③①と②の計画や報告を発表する場の設定</p> <p>→掲示板やgoogleフォームで共有</p> |

〈本プログラムの実行に向けて〉

